

クマモト・ウーマン 制作に携わって

取材に、原稿作成に、
初めてチャレンジした女子学生たち



本誌制作において、取材と原稿作成を
担当した女子学生たちです。この経験を
通して、何を感じたのか。声を寄せてく
れました。写真は、取材中の姿です。

明日のクマモト・ウーマンたち



熊本学園大学2年
安楽美紀

自分で直接インタビューして、原稿を書くという経験を初めてしました。今回の経験を生かし、色々なことにチャレンジしたいです。



熊本学園大学
2年
井上佳奈

普段の生活で体験できないインタビューなどに挑戦し、不安もありましたが、このプロジェクトに参加し、貴重な経験ができて誇りに思います。



熊本大学3年
請外葵

皆さんの熱にただただ圧倒されました。先輩方を生き方の手本とし、私も輝く女性になれるよう、邁進(努力、精進)していきます。ありがとうございました。



熊本大学3年
瓜生田萌枝

取材や講演でたくさん素敵なお話を聞くことができました。皆さん、前向きで明るいパワーを持っている方だったと思います。



熊本大学2年
衛藤涼花

今回私の中のさまざまな価値観が変化しました。自分とは異なる人を描く楽しさも知りました。お世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



熊本大学4年
小笠原遥

女性、女子学生に特化した冊子から、男女が共同して作成に取り組み、それぞれにロールモデルを発見できるものになっていけばと思います。



尚絅大学
(短期大学部)
1年
坂野優里

今回インタビューをした広瀬さんと岩永さんは、自分がしたいことをされていてとても「キラキラしているな」と思いました。



熊本大学
3年
佐々木由紀

伝えたいことが多すぎて、文字数が足りないくらいでした。拙い文章ですが、少しでも輝きのエッセンスが読者に伝わればと思います。



尚絅大学
(短期大学部)
1年
佐藤佳蓮

活躍されている女性のお話を直接聞かせていただき将来を見つめ直すきっかけになったと同時に、自分自身が成長できた貴重な時間でした。



熊本大学3年
砂岳佳菜恵

取材した女性はどなたもエネルギーと魅力に溢れていました。本プロジェクトではそのエネルギーに触れ、自分の人生観が大きく変わりました。



熊本大学3年
田中彩水

私は今年就活ですが、取材を通して、就職だけを最終目標にして焦ったり妥協するのではなく、人としてのベースが大切だと感じました。



熊本学園大学3年
長野実里

社会に出ていく私に、女性として生きるためのヒントを与えてくださり、本当に感謝しています。この経験を糧にさまざまなことに挑みたいです。

※五十音順 ※学年は平成26年度現在

明日のクマモト・ウーマンたち



熊本大学 4年
西野 結

取材に参加して、女性の働く道を切り開いてきた方々のお話を聞くことができました。私も環境に屈せず、自分らしく生きていければと思いました。



尚綱大学 2年
野田 真史

取材をし、原稿にまとめることは大変でしたが、社会で活躍している方に貴重なお話を伺うことができて、この企画に参加できたことに感謝しています。



熊本学園大学 2年
原 奈菜絵

決して1人でできることではなく、多くの人との関わりを通して1つのものを作るという経験は、自分にとって貴重な体験になりました。



熊本県立大学 2年
東 史華

制作は大変でしたが、やりがいもありました。熊本で働く女性達取材することで自分の将来への視野が広がり、とてもよい経験になりました。



熊本学園大学 2年
平山 真子

今回このプロジェクトに参加したことで、人生経験豊富な方々から貴重な話を聞くことができました。さまざまな考え方やパワーをいただきました。



尚綱大学 2年
宮 澄菜穂

インタビュー内容を限られた文字で表現することの難しさを痛感しました。けれども、表現することのおもしろさも見出すことができました。

クマモト・ウーマンの活動に参加して

※熊本大学世界システム史演習Eゼミ生

今回のプロジェクトに興味を持ってくれた熊本大学の男子学生も参加しました。講義や講演を聞いたり、取材に同行、女子学生がインタビューする姿を見守ったりする中で、彼らが感じたことを寄せてくれました。

文学部 3年
工藤 愛貴

このような事業に参加することは、私自身にとって大変有意義なものとなりました。今回の事業では、社会人になって必要なスキルを多く学べたと思います。

文学部 4年
黒木 翔平

多様な生き方が叫ばれる昨今、このような授業に参加でき、良かったです。いろいろな視点を持ってました！

工学部 3年
都留 迪郎

授業で講演を聞いて、そのどれもが自分のこれからの人生において役に立つばかりであったと思います。

工学部 3年
中村 公春

男女共同参画について自分はあまり考えたことがなかったが、この講演等を機にもっとよく理解しようと思った。

文学部 3年
松崎 圭祐

皆さんとても行動力に満ち溢れた方で、とても貴重な話を聞かせてもらったと実感しました。

文学部 3年
三嶋 直樹

さまざまな方のお話をお聞きし、男女共同参画社会の現状と問題点を考えることができました。

工学部 3年
宮内 陸

本田さんの講演から、どんなに失敗してもそれをバネにするプラス思考を持つことを大事にしていこうと思った。

文学部 3年
森川 稔

取材に応じてくださった皆さまがとても素晴らしい方たちで、人生の糧となる言葉を多くいただきました。

工学部 3年
吉見 智矢

普段関わるることがないような方の講演を聞くことができ、すぐためになりました。講義を受けることができて良かったです。



(左から) 中村さん、宮内さん、都留さん、吉見さん、三嶋さん、森川さん、松崎さん、工藤さん。右上は黒木さん

※五十音順 ※学年は平成26年度現在